

株主メモ

| | |
|-------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777(通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第一部 |
| 証券コード | 4971 |
| 公告の方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.mec-co.com/ir/denshi/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ニュースメール配信サービスのご案内

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録者のみなさまにそのタイトルとURLを電子メールにてお知らせするサービス(ニュースメール配信サービス)を行っています。

ご希望の株主さまには、こちらのサービスの送信先メールアドレス(携帯電話のメールアドレス不可)を、当社ホームページまたは、ディア・ネットサービスシステム(<http://www.dirnet.jp/>)から、簡単にご登録いただけます(無料)。

アンケートのお願い

当社では、株主のみなさまとのよりよいコミュニケーションを目指し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいりたいと考えております。

つきましては、この株主通信に対するご意見、ご感想をお聞かせいただきたくアンケートにご協力をお願いいたします。

ホームページのご紹介

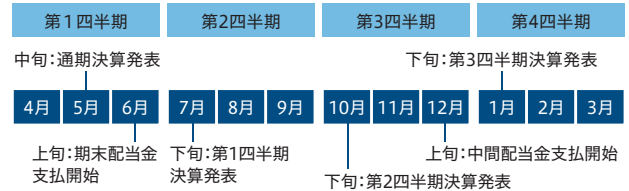
当社の企業情報やIR情報をホームページに掲載しています。

また株主通信のバックナンバーも掲載しておりますので、是非ご覧ください。



トップページ <http://www.mec-co.com/>
IRトップページ <http://www.mec-co.com/ir/>

IRカレンダー(平成26年3月期)



メック株式会社

証券コード: 4971

第45期中間

株主通信

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

- P1 株主のみなさまへ
- P5 特集
- P7 財務ハイライト
- P8 連結財務諸表
- P9 会社概要
- P10 株式の状況
- P11 株主メモ



Creating Surface Possibilities



メック株式会社

本社事務所/〒660-0881
兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地 アマックスビル
TEL. 06-6414-3451(代) FAX. 06-6414-3455

URL <http://www.mec-co.com/>



「次の成長市場」「電子基板以外の分野」に向けて 新技術と新製品の開発販売を進めてまいります。

株主のみなさまには、平素より格別のお引き立てを賜りまして、厚くお礼申し上げます。

第45期中間期の事業のご報告をするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期は、欧州では経済の危機的状況が回避されたものの本格回復には時間がかかると見られたほか、米国の財政問題、中国経済成長の減速などが下押しのリスクとなりました。日本経済においては、政府の経済政策や日銀の金融緩和を背景に企業収益や輸出環境の改善が見られましたが、個人消費の先行きには依然明るい兆しが見えない状況でした。

このような状況のもと、当社グループは主にスマートフォンやタブレットPCのディスプレイ向け薬品と高多層電子基板用薬品の開発や販売に注力するとともに、台湾や韓国等へはパッケージなど高密度電子基板用薬品の販売と技術サポートを推進し、売上の拡大を図りました。

今後、安定的な成長が見込める車載用や、着実に売上を伸ばしているスマートフォン・タブレットPC向けを中心に新製品や既存品の改良品を投入することで、景況感に左右されにくい成長戦略を描き、日々の業務を遂行してまいります。

これまで培ってきたシーズが、イノベーションの過程で現実となるニーズを的確に捉え、新しいテクノロジーの実用化に貢献できるよう、研究開発力にさらに磨きをかけるとともに、エレクトロニクス業界全体のグローバルな動向と地域ごとの需要の把握に努め、お客さまの仕様に対応する高い品質の商品と技術サポートを提供してまいります。

今後ともなお一層のご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 前田 和夫

平成26年3月期第2四半期連結累計期間の業績および今後の事業方針についてご報告申し上げます。

**モバイル端末向けが引き続き好調に推移。
円安の影響もあり増収増益となりました。**

当第2四半期連結累計期間中、エレクトロニクス業界は、スマートフォンやタブレットPCが比較的好調に推移したものの、依然として薄型テレビやPCの販売が厳しい状況で、力強い需要は見られませんでした。電子基板業界でも同様の状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは主にこれら端末のディスプレイ向け薬品と高多層電子基板用薬品の開発や販売に注力いたしました。具体的にはタッチパネル向け薬品のTPシリーズと基地局等に使用される高周波対応基板用のフラットボンドシリーズです。また、台湾や韓国等へはパッケージなど高密度電子基板用薬品の販売と技術サポートを推進することで売上の拡大を図りました。そのほか、国内では西宮および長岡両工場の生産体制の効率化を進めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は37億61百万円（前年同期比17.9%増）となりました。営業利益は6億円（同、53.8%増）、経常利益は6億77百万円（同、83.4%増）、四半期純利益は4億50百万円（同、69.5%増）となりました。

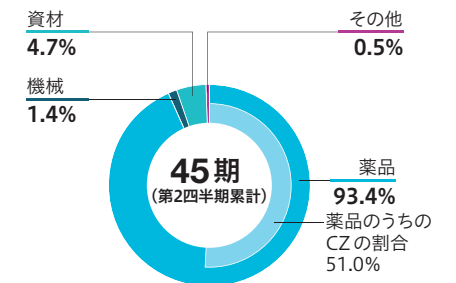
ディスプレイ向け薬品の販売が伸長しました。

当社グループの品目別売上構成（連結）のうち、「薬品」の売上高は、35億13百万円（前年同期比19.8%増）となり、売上高全体に占める割合は93.4%（同、1.5ポイント増）となりました。このうち超粗化剤CZシリーズの売上は17億91百万円（同、12.4%増）で、薬品売上高に占める割合は51.0%（同、3.3ポイント減）となりました。これは、PCのパッケージ基板向けが減少したものの、スマートフォンやタブレットPCのパッケージ基板や

平成26年3月期（第45期）
第2四半期累計期間の業績および期末業績予想

| | 平成25年 3月期 第2四半期 | 平成26年 3月期 第2四半期 | 平成26年 3月期 予想 |
|-------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|
| 売上高（百万円） | 3,191 | 3,761 | 7,300 |
| 営業利益（百万円） | 390 | 600 | 1,050 |
| 経常利益（百万円） | 369 | 677 | 1,050 |
| 当期純利益（百万円） | 265 | 450 | 700 |
| 1株当たり 当期純利益（円） | 13.23 | 22.42 | 34.88 |

品目別売上高全体に占める割合（%）



マザーボード向けが堅調に推移したことによるものです。

このほかディスプレイ向けでは、タッチパネルや液晶テレビ向けのエッチング剤が好調に推移し、また高周波基板向けの銅表面フラット処理の薬剤の採用が進みました。

地域別売上高（連結）における海外売上高比率は、47.5%（前年同期比1.6ポイント増）※1となりました。

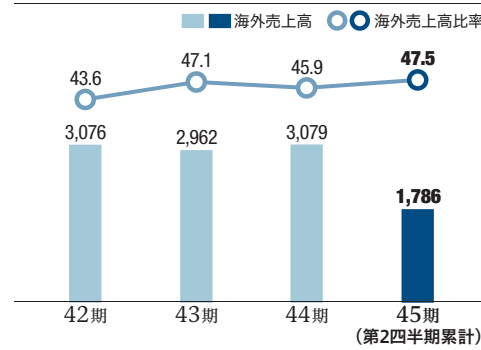
地域セグメントの売上高は、日本国内では、パッケージ基板用は堅調に推移したものの汎用電子基板向けは減速傾向でした。スマートフォン、タブレットPC生産が伸びており、ディスプレイ向けは好調に推移しました。その結果、21億43百万円（同、14.1%増）となりました。台湾でも、スマートフォンやタブレットPC向けを中心に市場が活況を呈し、かつ既存顧客向けの新製品販売が伸び、薬品の売上が増加しました。その結果、7億13百万円（同、44.1%増）となりました。香港、珠海では、汎用電子基板市場の一部で減速傾向が見られ、薬品の販売はほぼ前年同期並みに留まりました。蘇州においては、汎用電子基板の市場で一部減速傾向が見られていましたが、ようやく回復基調に転じ、薬品の販売が増加しました。その結果、中国では6億69百万円（同、18.8%増）となりました。欧州では、業界全体が低迷の状況にあり、2億34百万円（同、7.6%減）となりました。

※1 当社薬品海外使用分の国内代理店販売を加算した場合の比率は61.4%です。

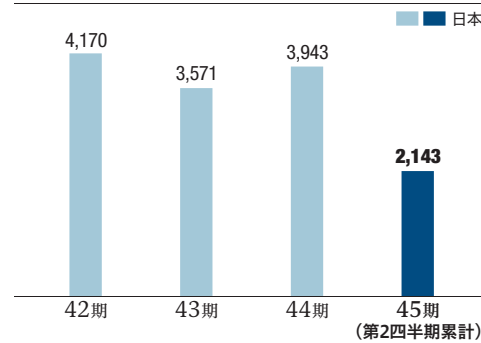
**ハイエンド基板市場で確実な成果を上げながら、
新用途市場の開拓に努めてまいります。**

急成長するモバイル端末市場でLTE※2化やモジュールの高集積化が進み、CPU※3やGPU※4のコア数が増加する一方、自動車市場では電子制御化の進展で、ECU※5やセンサーなど車載用電子デバイスの需要が急拡大しています。こうした市場における情報処理量の増大、処理スピードの高速化を支えているのが、電子基板上の界面処理をコアとした当社の

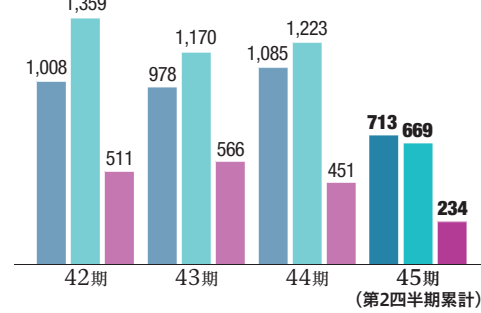
海外売上高（百万円）／海外売上高比率（%）



地域セグメント別売上高（百万円）



台湾 中国 欧州



技術です。今後の事業方針としましては、それらの強みが発揮されるハイエンド基板市場において、CZシリーズやVボンド、マイクロエッチング剤などの拡販で確実な成果を上げる一方、培ってきたコア技術にさらに磨きをかけ、新用途市場の開拓に努めてまいります。また、銅と樹脂以外の界面処理の分野でも社会のニーズに応じた価値創造に取り組んでまいります。

- ※2 LTE 携帯電話、主にスマートフォンの普及に伴って使用され出した新しい通信回線の通称。Long Term Evolutionの略。
- ※3 CPU 中央処理装置。コンピュータを構成する部品のひとつ。マウス、キーボード、ハードディスク、メモリー、周辺機器などからデータを受け取り、計算・処理・制御・命令などを行う。Central Processing Unitの略。
- ※4 GPU 画像演算処理装置。PCや携帯電話・スマートフォンといった機器において、画面表示するための主要な部品のひとつ。Graphics Processing Unitの略。
- ※5 ECU 車載用電子制御ユニット。自動車などのエンジン等を電氣的に制御するマイクロコンピュータ。Electronic Control Unitの略。

中間配当は1株当たり5円といたします。

配当金につきましては、安定配当の考えを維持しつつ、期間利益の反映を図る所存です。当期配当につきましては、1株当たり中間配当金5円、期末配当金5円の年間10円を予定しております。

当社は「子育てサポート企業」に認定されました。

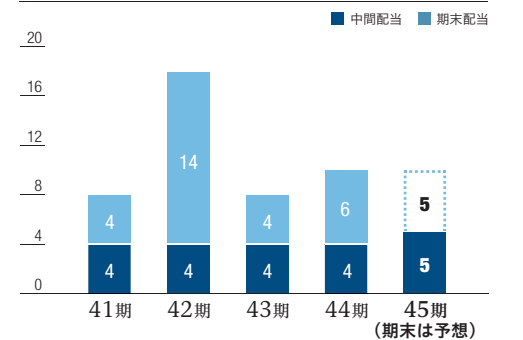
当社は、本年6月、厚生労働省兵庫労働局から、次世代育成支援対策推進法第13条に基づき「子育てサポート企業」に認定され、次世代認定マーク「くるみん」を取得しました。当社では、出産・育児にかかわる諸制度の整備や啓蒙活動を行い、平成23年4月1日から平成25年3月31日までの期間内で育児休暇の取得率は100%でした。男性も育児休暇を取得するなど、実績が出てきています。引き続き、子育て支援や仕事と家庭の両立を支援する「ワークライフバランス」を積極的に進めます。



主力製品の動向

| | |
|----------------|---|
| CZシリーズ | スマートフォンやタブレットPCのパッケージ基板やマザーボード向けが伸長。 |
| EXEシリーズ | 液晶テレビ、有機ELパネル搭載のテレビ等をはじめとするディスプレイ用途で採用が進みました。 |
| Vボンド | 自動車関連市場で成果が出始めています。 |

1株当たりの配当金（円）



※ 42期の期末配当金は記念配当10円を含む。

急速に進む電子機器の小型化、高機能化。メックの「界面創造」技術は、最先端のエレクトロニクス産業に貢献しています。

私たちの身近で便利な生活を支える電子機器。そのめまぐるしい進化を支える中枢のひとつが電子基板です。この基板上に精密な電子回路を形成するためには、高度な表面処理の技術が求められます。

電子機器の高度化にともない、基板上に精密な電子回路を形成するときに、銅などの金属と樹脂とが接する界面の密着信頼性を高めることが、技術革新の大きなテーマとなっています。

メックは長年培った銅表面処理技術をコアとする研究・開発を重ね、その結果、高い精度が要求されるパッケージ基板の分野で世界トップレベルの技術を獲得。電子基板メーカーから絶大な信頼を寄せられています。また、環境面に配慮した製品を業界に先駆けて提供するなど、当社の表面処理技術が強みを発揮しています。

2002年(平成14年)
積層前処理用途
環境負荷低減マイクロエッチング剤
メックVボンドの販売開始

1995年(平成7年)
密着性向上用途
銅表面粗化剤 メックエッチボンドCZシリーズ
の販売開始

1979年(昭和54年)
最終仕上処理用途
HALフラックスの販売開始

1970年(昭和45年)
銅表面処理剤・はんだ表面処理剤の販売開始



TOPICS

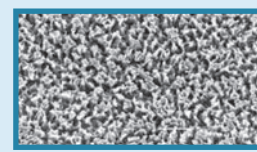
環境負荷が少ない「メックVボンドシリーズ」

従来の黒化処理と比較して環境負荷の少ないプロセスとして設計。高密度電子基板に使用される耐熱性の高い樹脂やダイオキシンの発生がない環境負荷低減用樹脂との密着性は非常に優れています。

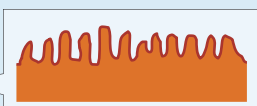
| | メックVボンドシリーズ | 黒化処理 |
|------|-------------|-------------------------------|
| 廃液処理 | 容易。自社内で処理可能 | 困難。専門業者による処理が必要 |
| 処理温度 | 常温で処理可能 | 80～90℃で処理 |
| 作業環境 | クローズシステムが可能 | オープンエア環境で処理する必要があり、作業者に負荷がかかる |

銅表面に独特の凹凸形状をつくりだす「メックエッチボンドCZシリーズ」

当社の主力製品である銅表面粗化剤CZシリーズ。これは銅の表面を化学的に数μm程度ごく僅かに溶解除去する処理（「マイクロエッチング」と言う。）を行うだけで、配線表面に深い凹凸を形成することができ、次の工程で塗布される樹脂との密着性が飛躍的に向上します。



MECCATCHBOND CZ



表面粗化(物理的)による密着性向上

将来は・・・

次世代自動車・燃料電池・医療分野で

電子制御機能の高度化、軽量化が進む次世代自動車をはじめ、燃料電池、医療関連市場のほか、電子基板以外の市場に向けてコア技術の展開を進めます。

現在は

普及拡大期にあるハイエンド市場で急速に需要を伸ばすスマートフォンやタブレットPC市場のパッケージ基板やマザーボード向け、そしてタッチパネルや4K/8Kテレビなどディスプレイの製造工程において、当社の超粗化剤やエッチング剤が欠かせない存在になっています。



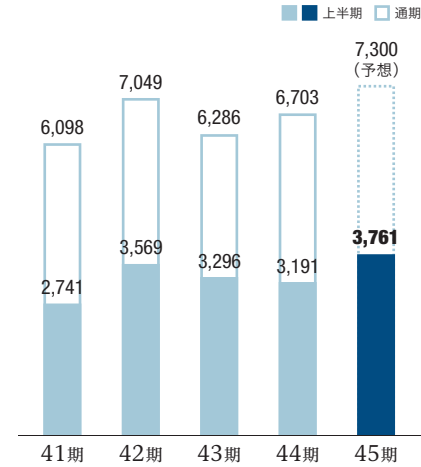
電気自動車や医療ITの分野も、当社のコア技術の展開が期待される市場です。



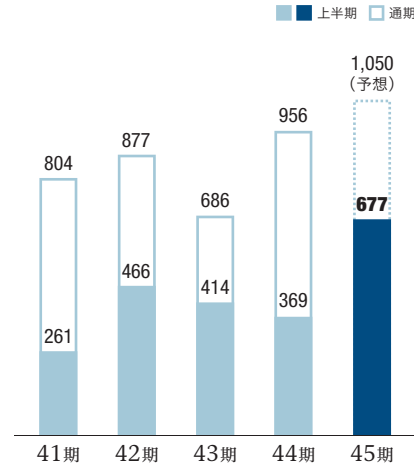
最先端のエレクトロニクス製品に当社の製品が使われています。

財務ハイライト

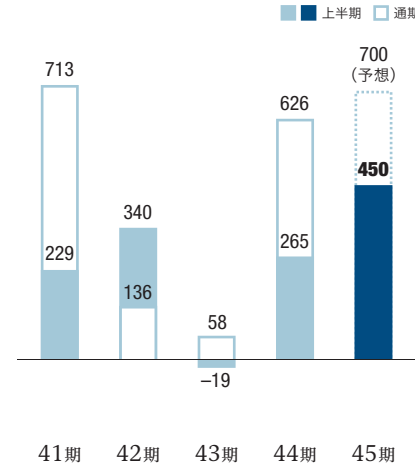
売上高 (百万円)



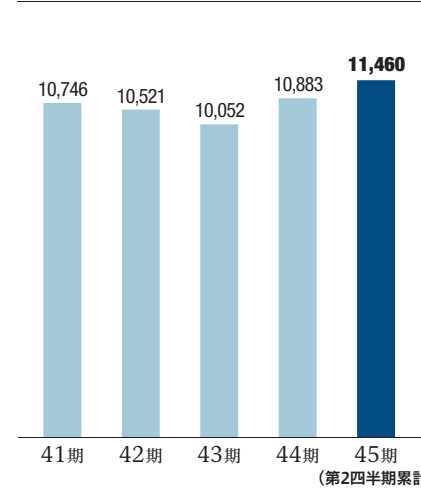
経常利益 (百万円)



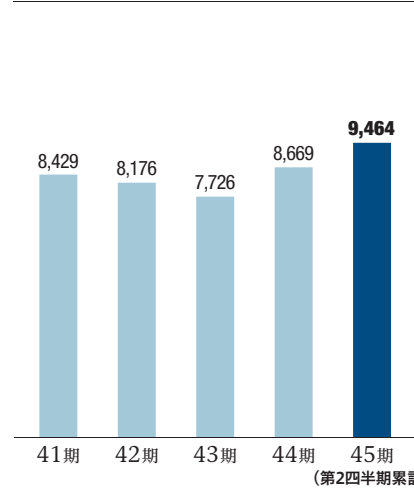
当期純利益 (百万円)



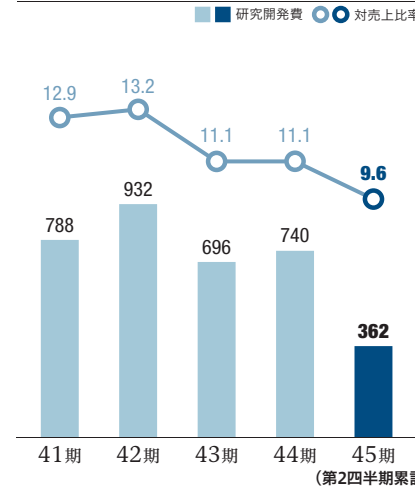
総資産 (百万円)



純資産 (百万円)



研究開発費 (百万円) / 売上高研究開発比率 (%)



免責条項: 本報告書に記載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

(単位: 千円)

| | 前連結会計年度 平成25年3月31日 | 当第2四半期 連結会計期間 平成25年9月30日 |
|--------------|-----------------------|--------------------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 5,727,049 | 6,199,661 |
| 固定資産 | 5,156,672 | 5,261,183 |
| 有形固定資産 | 4,678,718 | 4,751,792 |
| 無形固定資産 | 44,651 | 42,350 |
| 投資その他の資産 | 433,303 | 467,040 |
| 資産合計 | 10,883,722 | 11,460,845 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 1,853,004 | 1,599,986 |
| 固定負債 | 361,295 | 396,405 |
| 負債合計 | 2,214,300 | 1,996,391 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 8,985,521 | 9,315,187 |
| 資本金 | 594,142 | 594,142 |
| 資本剰余金 | 446,358 | 446,358 |
| 利益剰余金 | 7,945,033 | 8,274,699 |
| 自己株式 | △ 12 | △ 12 |
| その他の包括利益累計額 | △ 316,100 | 149,265 |
| その他有価証券評価差額金 | 32,842 | 46,510 |
| 為替換算調整勘定 | △ 348,942 | 102,755 |
| 純資産合計 | 8,669,421 | 9,464,453 |
| 負債純資産合計 | 10,883,722 | 11,460,845 |

- Point 1 売上高: 前年同期に比べ569百万円(17.9%)の増収。薬品は3,513百万円(19.8%増加)、機械は52百万円(9.4%増加)、資材は177百万円(3.3%減少)。
- Point 2 売上総利益: 前年同期に比べ319百万円(15.8%)の増益。売上総利益率が下落している主要因は、材料費の増加によるもの。
- Point 3 営業外収益、営業外費用: 前期は為替差損(37百万円)があり、今期は為替差益(47百万円)があった。

連結損益計算書(要約)

(単位: 千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで | 当第2四半期連結累計期間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで |
|-----------------|---|---|
| 1 売上高 | 3,191,385 | 3,761,049 |
| 売上原価 | 1,169,039 | 1,419,450 |
| 2 売上総利益 | 2,022,346 | 2,341,599 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,631,902 | 1,741,037 |
| 営業利益 | 390,443 | 600,562 |
| 3 営業外収益 | 28,874 | 80,150 |
| 3 営業外費用 | 49,578 | 2,733 |
| 経常利益 | 369,739 | 677,979 |
| 特別利益 | 3,101 | 84 |
| 特別損失 | 4,626 | 2,797 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 368,214 | 675,266 |
| 法人税等 | 102,707 | 225,174 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 265,507 | 450,091 |
| 四半期純利益 | 265,507 | 450,091 |

連結包括利益計算書

(単位: 千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで | 当第2四半期連結累計期間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 265,507 | 450,091 |
| その他の包括利益 | 33,377 | 465,366 |
| 四半期包括利益 | 298,884 | 915,457 |

会社概要

会社概要 平成25年9月30日現在

| | |
|----------|-------------------------------|
| 商号 | メック株式会社 |
| 本社事務所所在地 | 兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地 アマックスビル |
| 設立年月日 | 1969年(昭和44年)5月1日 |
| 資本金 | 594,142,400円 |
| 事業内容 | 電子基板製造用薬品、機械装置及び 各種資材の製造販売 |

役員 平成25年9月30日現在

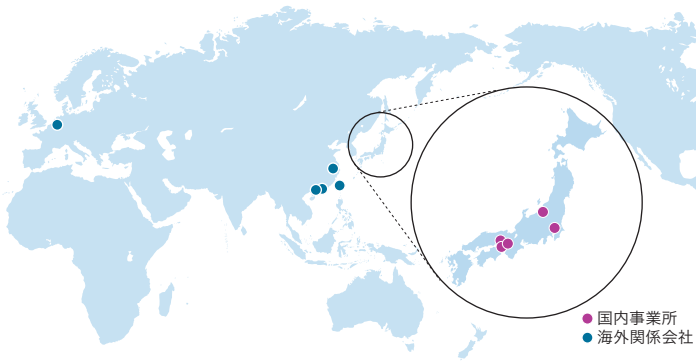
| | |
|------------------------------------|--------|
| 代表取締役社長 | 前田 和夫 |
| 取締役常務執行役員 | 溝口 芳朗 |
| 取締役常務執行役員 | 西川 裕史 |
| 取締役常務執行役員 事業本部長 兼 台湾美格股份有限公司總經理 | 長井 眞 |
| 取締役(社外) | 佐竹 隆幸 |
| 常勤監査役(社外) | 前田 勝廣 |
| 監査役(社外) | 松山 英明 |
| 監査役(社外) | 田中 明子 |
| 常務執行役員 管理本部長 | 北村 伸二 |
| 常務執行役員 研究開発本部長 | 中川 登志子 |

国内事業所 平成25年9月30日現在

| | |
|-----------------|---|
| 本社／大阪営業所 | 〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地 アマックスビル TEL. 06-6414-3451(代) FAX. 06-6414-3455 |
| 東京営業所 | 〒190-0003 東京都立川市栄町六丁目1番1号 立飛ビル7号館7階 TEL. 042-538-1080(代) FAX. 042-538-1090 |
| 長岡工場 | 〒940-2045 新潟県長岡市西陵町221番地36 TEL. 0258-47-2490(代) FAX. 0258-47-2493(代) |
| 西宮工場 | 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜二丁目1番19号 TEL. 0798-46-8588(代) FAX. 0798-46-8688 |
| 研究所 | 〒660-0832 兵庫県尼崎市東初島町1番地 TEL. 06-6401-8170(代) FAX. 06-6401-8172 |

海外拠点 平成25年9月30日現在

| | |
|--|--|
| MEC TAIWAN COMPANY LTD. | No.3, Ziqiang 6th Rd., Zhongli City, Taoyuan County 320, Taiwan (R.O.C) TEL. +886-3-434-3549 FAX. +886-3-434-5047 |
| MEC EUROPE N.V. | Kaleweg 24-26, B-9030 Gent, Belgium TEL. +32-9-216-7272 FAX. +32-9-216-7270 |
| MEC (HONG KONG) LTD. | No.8, 12/F., Tower 3 China Hong Kong City, 33 Canton Road, Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong TEL. +852-2690-2255 FAX. +852-2690-2262 |
| MEC FINE CHEMICAL (ZHUHAI) LTD. | 530 An Ji East Road, Sanzao Town, Jinwan Qu, Zhuhai City, Guang Dong 519040, China TEL. +86-756-762-2328 FAX. +86-756-762-2628 |
| MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS (SUZHOU) CO., LTD. | 31 Linjiang Road, Suzhou Industrial Park, Jiangsu 215121, China TEL. +86-512-6745-1990 FAX. +86-512-6745-1993 |



株式の状況

株主状況 平成25年9月30日現在

| | |
|---------|-------------|
| 発行済株式総数 | 20,071,093株 |
| 株主数 | 4,097名 |

大株主の状況 平成25年9月30日現在

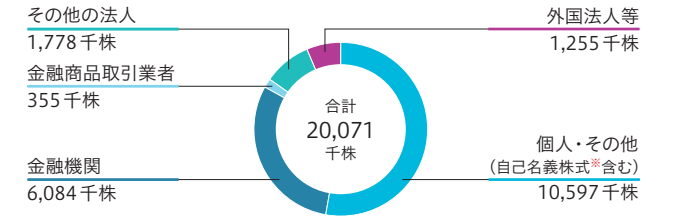
| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|---------------------------|----------|---------|
| | 所有株数(千株) | 持株比率(%) |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,631 | 13.10 |
| 株式会社マエダホールディングス | 1,199 | 5.97 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,054 | 5.25 |
| 前田 耕作 | 1,005 | 5.00 |
| 前田 和夫 | 705 | 3.51 |
| 野村信託銀行株式会社(投信口) | 643 | 3.20 |
| 腰高 修 | 517 | 2.58 |
| メック従業員持株会 | 512 | 2.55 |
| メック取引先持株会 | 485 | 2.41 |
| 川邊 豊 | 469 | 2.33 |

株価の推移

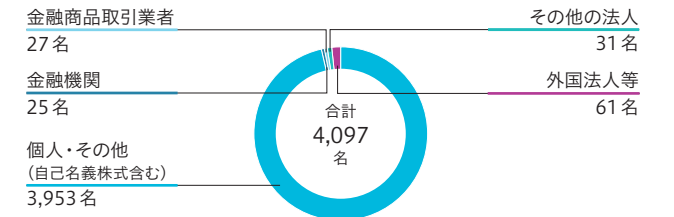


株式分布状況 平成25年9月30日現在

所有者別所有株式数



所有者別株主数



※ 自己名義株式数 34株